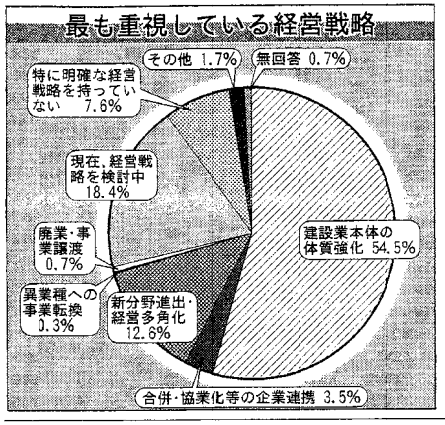
強まる本業重視

道の10年度・建設業経営調査

環境厳しく体質強化

新分野進出13%に下降

道建設部は、2010年度に実施した「建設業の経営に関するアンケート調査」の結果を公表した。回答企業の54・5%が、最も重視する経営戦略に「建設業本体の体質強化」を挙げ、09年度調査より5・1ポイント上昇する一方、「新分野進出・経営多角化」を戦略の柱とするのは12・6%にとどまり、09年度より3・2ポイント低下した。経営戦略を「持っていない」と「検討中」が合わせて26%と、09年度より1・6ポイント減る中、本業重視を選択する傾向が一段と強い。現在実践している取り組みでは、09年度調査と同様に6割以上が「経費の削減」、3割以上が「民間需要の開拓」を挙げている。



道は、施策展開への反映を目的に、道内建設業の実態や意識を把握するアンケート調査を03年度から行っている。今回の調査は、10年度に経営事項審査を申請した867社を対象に、1383社から回答を得た。回答企業の業種は、土木が48・6%、建築が30・2%など。

公共工事と民間工事の受注額の変動状況は、1年前に比べ、「減少した」という回答が公共39・5%、民間44・3%と最も多かったものの、09年度の調査よりも割合は縮小。一方、「増加した」という回答が、公共で31・7%、民間で20・8%に上り、09年度より公共が8・1ポイント、民間が2・4ポイントそれぞれ上昇している。

最も重視する経営戦略は、「建設業本体の体質強化」が54・5%と、09年度調査より5・1ポイント増え、調査項目となった06年度以降で初めて50%を超えた。一方、「新分野進出・経営多角化」と「異業種への事業転換」を重視する企業は、合わせて12・9%にとどまり、09年度より3・9ポイント下がった。「経営戦略を検討中」が18・4%、「明確な経営戦略を持っていない」が7・6%で、ともに09年度より減り、本業重視を鮮明に打ち出す企業が増えている。

建設業部門で実施している取り組みは「経費の削減」が最も多く、「民間需要の開拓」が35・9%、「得意分野への専門化」が29・5%、「社員の資格取得促進」27%、「社員の経営能力向上」24・9%などが高い。

新分野の取り組みについては、21%が「既に進出」と回答し、09年度より0・7ポイント低下。これら進出企業のうち、新分野の収支が「黒字」なのは30・6%と、09年度より1・3ポイント増えた。5年以内に黒字化を見込んでいるのは52・9%で09年度より2・6ポイント上昇。10・7%は「見込みなし」と答えているものの、09年度より4・1ポイント減っている。

雇用状況に関して、従業員の過不足感では「不足」(14・4%)が「過剰」(12・4%)を上回っている。

国交省

保険加

建設業の

国土交通省は、公共工事設計労務単価を算出する際の基礎となる2011年度公共事業労務費調査の実施方針を固めた。社会保険加入の実態を把握するため、雇用保険事務所番号、健康保

追い込み

総ぐるみ

北海道建設業協会の通安全対策委員会は日、道建設会館で2011年度第1回委員会を開き、9月27日午後3時から札幌グランドホテル「第32回建設産業交通安全全道大会」を開催し10―11月には「工事追い込み期の建設産業交通安全防止総ぐるみ運動」展開する方針を決めた。

全道大会は道建協など建設関連団体でつくる建設産業交通安全推進部が主催する。32回目が参加し、悲惨な交通事故の撲滅を決議する。

8月6日(土)

主なニュース

大
岡
J
松
前

北海道建設新聞

発行所
北海道建設新聞社
〒060-0004 札幌市中央区北4条西19丁目1番地11
TEL.(011)611-6311
FAX(011)621-2913
旭川支社 (0166) 26-2541
苫小牧支社 (0144) 33-0161
帯広支社 (0155) 22-0401
函館支社 (0138) 52-3870
釧路支社 (0154) 41-3832
室蘭支社 (0126) 25-2444
小樽支社 (0134) 33-0866
北見支社 (0157) 23-4666
留萌支局 (0143) 24-5188
稚内支局 (0164) 42-2443
網走支局 (0162) 32-1116
苫小牧支局 (0152) 44-2675

©北海道建設新聞社2011

情報化施工
GPS・GIS
3次元CAD
iwasaki
株式会社岩崎
本社 〒060-0034
札幌市中央区北4条東2丁目
TEL:011-252-2000
FAX:011-252-2009
www.iwasakinet.co.jp
旭川・帯広・釧路・函館・北見・網走
苫小牧・室蘭・小樽・稚内・留萌